

実践報告資料

研究テーマ 『 お互いを思いやり お互いを尊重する生徒の育成
 ～ネット社会の中で、情報モラル教育を通じた自他を大切にするとする人権教育の実践～ 』
 研究内容【 (①)、(2)、(3)、(④) 】

学校名 (加古川市立浜の宮中学校)

ア 人権教育としてのねらい インターネットによる人権侵害等の人権課題を中心にすえて、情報モラル教育を推進し、家庭や地域、関係機関との連携を深めながら、人権課題解決に向けた意欲や態度および実践力の育成を図るとともに、自己肯定感を高め、他者を思いやる豊かな感性をもった生徒を育成する。				
イ 研究の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット上における生徒の人権を侵犯する事象を喝破し、生徒たち自身が人権侵害の加害者にも被害者にもならないために、即応的措置を講じる校内組織をつくり研究を推進する。 ・ インターネット上での人権侵害事象に関わる教員の研修を充実させ、指導力を高める。 ・ 各教科、道徳、総合的な学習の時間等で、情報モラル教育に取り組み、実践力を育成する。 ・ 家庭や地域、関係機関との連携強化を図り、協同体制を確立する。 				
領域	教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	理科担当教員	学級担任	全教職員	外部講師・全教職員
実施日	11月15日	5月13日	4月15日	5月10日
取組名	協同的探究学習	情報モラル学習	新入生歓迎綱引き大会	e-ネット安心講座
目 標	一人一人の子どもの考えを尊重し、肯定的に評価してその意味や意義を話し合うことで皆で高め合う。 授業を通して、人間関係づくりを行い、生徒の自己肯定感を高める。	いじめに同調することなく、いじめは絶対許さないという態度を身につける。 メールに対する価値観の違いを理解し、共によりよく生活しようとする態度を育てる。	全校生で協力して行事を行うことにより、学級や学校での所属感をもたせ、自己肯定感を養う。 教師と生徒が共に参加することで信頼関係を構築する。	ネット社会の影の側面を理解する。 スマホや携帯電話を安全に活用する方法を学ぶ。 保護者向けネット教室により、家庭との連携を図る。
資料名	「運動とエネルギー」	「あなたのスマホ・携帯・大丈夫？」(きらめき)	/	「安心インターネットライフガイド」(県警)
指導内容や指導方法の工夫等	自分の考えをしっかりと発表させたり、友達の考えをしっかりと聞かせたりするなど、多様な意見を出し合うことで更に深い思考に到達できるようにする。 お互いの意見を認め合うことで、学ぶ楽しさや分かる喜びを感じさせ、学級における自分の存在意義を感じ取らせる。	外部講師を招いて情報モラルの講演を実施した後、さらに理解を深めるため、情報モラルの授業を実施する。 友だちを傷つける行為はいじめと同様であることに気付かせる。 携帯やスマホが使い方ではいかに人を傷つけるか理解させ有効に使用しようとする態度を育てる。	3学年を学級のナンバーで縦割りにし、予選リーグ・決勝トーナメントで競い合う。 3学年で1つのチームをつくることにより、異学年で協力することの大切さを学ぶ。 生徒会本部役員を中心に運営させることにより、リーダー性を養い組織の活性化を図る。	ケータイ依存、ネットいじめ、ネット誘引、ネット詐欺などネット社会の影の部分を知る。 インターネットを安全に活用する方法を専任講師の話や映像を通して学ぶ。 講演後、感想を書かせ、生徒の理解度を確認する。 アンケートを実施し生徒の理解度の確認や今後の指針にする。